



平成30年度夏号 (NO. 32)
発行：竜丘地域自治会
編集：地域振興委員会
問合せ先：(0265) 26-9303

桐林クリーンセンター ～後利用の方向性について～

クリーンセンター稼働終了の施設を含む後利用については、平成25年3月当時の竜丘地域自治会・飯田市・南信州広域連合3者により、以下の項目について確認書を締結しました。

- ◆後利用検討組織を立ち上げ検討
- ◆施設は解体せず活用
- ◆南信州広域連合の所有地及び借地の土地は一団の土地として検討
- ◆土地の扱いについては地主の意向に配慮

平成25年7月に、第1回桐林クリーンセンター後利用等検討委員会を開催し、以降幹事会を含め8回の協議を重ねました。時代が変動していく中、全体の流れを捉え、3者が歩み寄り納得できるよう柔軟に対応し、大きな視点での検討を進めてきました。利用案については、「産業系の利活用」「公的施設」「スポーツ施設」等が上げられましたが、第二環境産業公園化の考えに沿い、サンヒルズを含めたクリーンセンター周辺を一団の土地として「産業系の利活用」で取り組むことを確認しました。今後については、桐林クリーンセンター後利用等検討委員会で引き続き取り組んでいきます。

(竜丘地域自治会 会長 下平勝熙)



市政懇談会が開催されました



本年度の市政懇談会は、竜丘公民館にて約100名の皆様の参加のもと、7月24日(火)に行われました。

第一部では、牧野市長から「いいだ未来デザイン2028」の説明がありました。続いて第二部では、地域の課題として「県道時又中村線における不法投棄対策」「桐林コミュニティ広場の芝生化」「道路・河川における支障木等の対策」について、分科会に分かれて話し合われました。各分科会とも活発に意見が出され、熱心に耳を傾けている姿が見られました。

それぞれ課題解決には、時間がかかりますが、地域と行政が協働して取り組むことが重要であると確認する良い機会となりました。

(竜丘地域自治会)

連載シリーズ 第7回 ～ 紹介します ～ 「時又ふれあいセンター」



穏やかに歳を重ねるために、人とのふれあいはとても大切なのだという。その中で育まれる柔軟な思考や笑顔に、私達は支えられて生きている。

時又ふれあいセンターには、みんなの広場とお休み処という場所がある。予約なしで使えるという利便性の良さから、すすらんの会の役員会でお休み処をよく利用した。ここは読書や音楽を聴くにも最適な空間で、流しも付いている。また、暑気払いにはみんなの広場で焼肉を企画し、20人弱が参加した。オープンスペースなので開放感があり、とてもくつろげる場所になっている。

みんなの広場とお休み処、この場所がもっと多くの人に周知され、特に地元のお年寄りが気楽に立ち寄ることができ、のどかに語り合える場所になればと願っている。健やかで実り豊かな日々を紡いでゆくために。

(時又 伊原裕子)

万寿山の桜 ～今と昔～



万寿山のソメイヨシノも樹齢七十年以上の為、十年程前から枝枯れが目立ち、危険との事で順次伐採しています。以前からソメイヨシノを始め、大山桜、八重桜、枝垂桜等の植樹も行っていますが、思うように育ってくれません。今年度よりマレットゴルフ場も廃止しました。

万寿山は毎月当番常会が下草刈りを行い、桐林共和会も草刈り、施肥、飾り付け等を昔から行っています。

私も子どもの頃、家族でお花見に行ったりキャンプをしたりと、懐かしい思い出がたくさんあります。手入れは大変ですが、昔のように桜の万寿山として地域の人達が集い、憩える公園になるように願っています。

(桐林地区民)



東京竜丘会で旧交を温め！

5月13日に第15回東京竜丘会がアルカディア市ヶ谷で開催され、竜丘地区から自治会役員20名を含む総勢70余名が出席しました。

2年刻みで開催されている東京竜丘会。本年は、会の発足に物心両面から多大なお力を添えていただき、この春亡くなられた駄科出身の木下長志さんを偲び、親交の深かった塩澤実信さんのお話をお聞きしました。

ヤクルトの創業者である、駄科出身の代田稔博士の研究功績紹介の講話や前会長退任の挨拶もありました。恒例の懇親会では会員みなさんに自治会長から竜丘地区の近況をお話し、ふるさとが大きく変貌したことをお知らせしました。

役員をはじめ皆さんの元気な姿、半世紀ぶりに再会できた同級生や親戚との懐かしい思い出話など、時間の過ぎるのも忘れ、賑やかに旧交を温めることが出来ました。

(竜丘地域自治会 副会長 下井田実)

